

**事故車排除業務****やすのり
野田恭徳さん**

お客さんから「助かった、ありがとう」と感謝の言葉をいただいた時、この仕事をやっていて本当に良かったと語る恭徳さん。現在は取締役として責任のある立場で父が経営する野田レッカーで働く。

12歳年上の兄から黄色いツナギをゆずり受けたのは中学生の頃。家業の手伝いから関わってきたこの仕事で様々な現場を見てきた。「些細なミスが悲惨な状況をまねきます。ハンドルを握る人は責任の重さを知ってほしい」と願う。

365日24時間対応の看板を背負いながらの新婚生活。新しい家族が心の支えという若者がクルマ社会を支えている。

働く姿
シリーズ

告知板

◆第66回山形村総合文化祭
参加者募集のお知らせ◆

11月5日(土)、6日(日)に開催される総合文化祭にて、作品の出展(展示発表)やワークショップ、ステージ出演(芸能発表)などをしてみませんか。日頃の学びの成果を披露できる場となります。村民の皆さまからのご参加をお待ちしております。

- 開催日時 11月5日(土) 午前10時30分～午後4時30分
11月6日(日) 午前9時～午後3時
- 会場 山形村農業者トレーニングセンター
展示発表：体育館
芸能発表：ふるさと大ホール
- 申込方法 10月3日(月)までに申込書を提出してください。申込書はトレセンにあります。
- その他 10月5日(水)に参加者打合せ会議(貸出物品・出演順の調整など)を行いますのでご予定をお願いします。
- 問い合わせ先 山形村公民館(トレセン内)
TEL 98-3155

清水高原ジャズピクニック

8月21日(日)、清水高原テニスコート特設会場にて、第5回清水高原ジャズピクニックが開催されました。

清水高原の魅力発信と活性化を目的に毎年開催されているイベントで、ジャズバンドの演奏やプロミュージシャンの歌声が会場を魅了していました。



ピアやまがた敬老祭

9月3日(土)、特別養護老人ホームピアやまがたにおいて敬老祭が開催されました。最初に行われた式典では、



琵琶演奏会

から記念品が手渡され、その後の演芸会では歌などが披露され、利用者ごとご家族の方は楽しい1日を過ごしました。

9月10日(土)、清水寺の文化交流施設あららぎの庄において、琵琶演奏者 田原順子さんの演奏会が行われました。今回で6回目になる演奏会では、琵琶の弾き語りによる「隅田川」と「芦刈」、独奏の「飛天慟哭」が披露されました。琵琶の音色に清水寺の醸

小学校PTA作業

9月11日(日)、小学校において秋のPTA作業が行われました。今回の作業は、5年生の保護者を中心に、運動会のテント設営・生垣の剪定・トイレ掃除などを行いました。普段は手の届かない場所までの作業、お疲れ様でした。



し出す雰囲気为重なり、訪れた方々を魅了する演奏会となりました。演奏会の後には、田原さんを囲む交流会も初めて開かれ、熱心なファンの方が田原さんとの親交を深めていました。



山すそ

1号の発生が7月に入ってからと例年に比べ遅く、今年は台風被害も少なくなるかと思つたのも束の間、

8月に7つも台風が発生した。特に見た事もない様な迷走を続けた10号は、東北地方に上陸し岩手県、北海道を中心に大きな被害をもたらした▼毎年の様に台風や大雨で命を落とす人が出てしまう日本は、国連大学の報告書による「自然災害にさらされるリスクが高い国」で、上から4番目と言われている。台風、洪水に地震、津波と、島国であり山間部が多い地形も重なっている事に加え、近年のゲリラ豪雨などの異常気象も自然災害リスクを増大させている▼大雨の被害は、台風も増え、秋雨前線が停滞するこれからの時期が最も注意を必要とする。多くの農作物も収穫を迎える時であり、大きな災害がない事を祈りたい。そしてもう一つ、昨年は雨で中止になってしまった村民運動会。今年是好天の下に開催される事を祈って、今から「てるてる坊主」を作っておこう。

図書館からのお知らせ

図書館まつり企画

『お話を絵にしよう』作品大募集

来る10月22日(土)の図書館まつりで展示する、「お話の絵」を募集しています。

物語を読んで、気に入った場面や思ったことを絵にしてみませんか?気に入った本の思い出を、絵にして残すのも楽しいですよ。

対象 字のお話を楽しめる小学生から大人まで。

用紙 図書館にあります。クレヨンや絵の具など、使う道具は自由です。

しめきり 10月20日(木)

みなさんの応募をお待ちしています。

あなたの本との出会いをお手伝い……図書館便り

BOOK No.26 編集=山形村図書館

一箱古本市 参加者募集
図書館まつりを楽しみながら、おうちの本のお片付け

10月に図書館開館5周年を記念して、「図書館まつり」を行います。数ある催し物の一つに「一箱古本市」を計画しました。

図書館で用意するコンテナ一箱分の古本を持ち寄ってもらい、それぞれお好きな値段をつけて本屋さんごっこを楽しんでもらおうというものです。

図書館には「うちの本を片づけたいんだけど」「子どもが大きくなったから、いらなくなった本がたくさんあるの」というお悩みがよく寄せられます。でも、あなたのいらぬ本が、ほかの誰かさんあるの」というお悩みがよく寄せられます。でも、あなたのいらぬ本が、ほかの誰かさんあるの」というお悩みがよく寄せられます。



見本

かの心をつかむかもしれません。実際に、図書館入口のリサイクルコーナーはとても人気です。

秋のお片付けがてら、楽しく手放す、本のフリーマーケット。お友達を誘ってご参加ください。そして、図書館まつりを楽しみながら、図書館の5周年を盛り上げてくださいます。



ワークショップも

日時 10月22日(土) 10時~15時

場所 トレセン体育館
問い合わせ 山形村図書館
98-3155

夏休みの風景……

図書館分室が大好評

今年の夏休みは例年より1週間ほど長く、連日、宿題や調べものに来る小中学生でにぎわいました。小さな学習室はすぐ定員オーバー。そこでトレーニングセンター内の別室を「図書館分室」として開放しました。

図書館で申し込みをし、自分たちの好きなように机とイスをセッとして学習開始。終わったら図書館に一声かけてもらいました。かたづけもきちんとしており、感心しました。この調子なら長期休業中の「図書館分室」、これからも利用してもらえそうです。

松本山雅を応援しよう

今年もしおりを配布!

秋の読書週間に合わせて、今年も山雅の選手のしおりをプレゼント。毎年人気の山雅とのコラボ企画ですが、今年は図書館まつりの10月22日(土)からスタートです。図書館で本を借りた人にもれなくさしあげます。全種類ゲットしてね!

私のこの一冊

図書館利用者 大澤 聖花

『このあとどうしちやおう』

ヨシタケ シンスケ

私は山形村図書館で就業体験をしました。その時に一番印象に残ったのは、ヨシタケシンスケさんの『このあとどうしちやおう』という絵本です。

この本は、主人公のおじいちゃんが生きていた時にノートに書いた、死んでしまつてからは何をしようか、こうだったらいいな、ということについてのお話です。

おじいちゃんがしたいことや願望がとても可愛く、ページをめくると主人公になった気分になりワクワクします。

とても素敵なお話です。ぜひ読んでみてください。



おすすめ新着本紹介

『知識ゼロからのロングトレイル入門』

自然や土地の文化に親しむ「歩く旅」の魅力を伝えます。たのしいイラストや写真も満載!この秋の冒険にかけよう。

『男の「ええ加減」料理はフライパンひとつ』 石蔵 文信



60代から始める自立飯は毎日が楽しい発見。市販の「たれ」「もと」を使って、むずかしいこと抜き、でも味は絶品ですよ。

『深く、深く掘りすすめ!』 山本 省三



10000メートル先の地底に挑む!地球探査船(ちきぎゅう)の活躍ぶりを紹介します。

『旅のお供はしやれこうべ』

泉田 もと

奉公人の裏切りで大ピンチの惣一郎が出会ったのは、なんと、おしゃべりな「しやれこうべ」だった。涙と笑いの人情時代小説。

DVD 『レナードの朝』

『ガンジー』

山スポ

V少年サッカー

野球や柔道だけじゃない！

すごいぞ山形っ子



第1回 YAMANOBE杯

山形少年サッカークラブが快挙！

県内の強豪クラブ8チームを集めて行われた、第1回YAMANOBE杯少年サッカー大会（8月14日）で見事優勝を成し遂げた。

1回戦の伊那少年サッカークラブは4対2、準決勝屋代スポーツ少年団サッカー部を3対0と圧倒的な強さで勝ち進み、決勝の箕輪少年サッカークラブ戦はしびれる様な攻防を制し2対1で勝利した。

快挙はそれだけではない。シーズンを通して行われるリーグ戦でも、すでに優勝を確定しており、秋に開催される全日本少年サッカー大会長野県大会でも活躍が期待される。「全国への扉」は確実に視野に入るところにある。頑張れ、山形イレブン！

クラブ員随時募集中！
代表：伊東 090-4161-4603

大人だって負けてないぞ

山形ソフトボールクラブが、ちくまカップ夏季大会に出場し見事優勝。決勝戦は春季大会決勝で敗れた多田プレジジョンが相手。打ち合いたった試合は、8対5で勝利。雪辱を果たした。



8/28

なるう原でナイスショット

36名の愛好家が参加し、第2回山形村長杯マレットゴルフ大会が開催された。



8/28

【優勝】

- 男性 百瀬 利春さん
- 女性 齋藤 正子さん

晴れ男・晴れ女たちの

第19回山形村民ゴルフ大会 前日の予報とは裏腹に、大会当日は晴天に恵まれた。山形村のゴルフ愛好家はボールだけでなく悪天候さえも吹き飛ばす！



9/7

【結果】

- 優勝 三島 昭八さん
- 準優勝 古川 誠治さん

清水高原の風になった

今年もサイクルロードレースが開催され、学生を中心に多くの参加者が清水高原を駆け上がった。



9/11

コ ー チ 道

～ 素晴らしい指導者との出会いが明日のアスリートを生む～

今回は、各団体のコーチにスポットを当て、思いを語っていただきました

大好きな野球を子どもたちと一緒にできる喜びを感じな



倉沢 保仁
(小坂)

山形キヨミズ

私は、中学・高校と柔道を経験し、子どもにも柔道を通して色々なことを学んでもらいたいと思いい、一緒に入塾しました。柔道は、まず受け身を習い、その後に相手を投げる技を習います。自分の身を守る事を覚え、その後に相手を思いやり、相手を投げる。子どもたちには、自分が強くなる上で、相手を思いやる気持ちを持つことと、元気に挨拶が出来る様に育ってもらいたいです。



沼田 秀治
(上大池)

克己塾

私の目標は子どもたちがバレーの基本的な技術を習得し、バレーが楽しいと感じる場面を多く作ることです。また、バレーを通して挨拶等の礼儀集団行動での規律や協調性も育成していきます。一つのボールをつなぐために重要なチームの信頼関係、子どもと保護者、指導者の和を大切にしていきたいです。

から、宮前監督の下、コーチをしています。勝てるチーム、優勝できるチームにすることがもちろんですが、それ以上に仲間を思いやる心を持ち、地域に貢献し、感謝の気持ちを忘れない人間(ひと)になつてもらいたいです。息子が6年生で最後の年、精いっぱい頑張りたいと思っています。そして何より、『野球つて楽しいな』『野球をやつて良かったな』と思ってもらえたら一番うれしいな…◎



宮城 隼人
(下大池)

少女バレーボール

昭和55年、トレーニングセンター開設とともに発足した空手クラブ。林先生はスポ団設立当初から団体にも関わり



林 和男
(下竹田)

空手クラブ

コーチをはじめて5年目となり、はじめた頃と比べ指導方法も考え方もかなり変わつたと思います。今も試合に勝たせてあげたいとは思いますが、言われて動くのではなく、自分で考え、判断、行動してもらえようように指導しています。サッカーを通してスポーツが楽しくなり、他のスポーツも楽しめる、そんな子どもに成長してほしいと思います。



村瀬 圭夕
(上竹田)

少年サッカー

子どもたちには、剣道を通じて心身を磨き鍛え元気な力を養い、礼儀と節度等たくさん学んでもらいたいと思っています。子どもたちと一緒に私自身も学んでいきたいです。

剣道の稽古は、辛い暑い寒い痛い子どもたちには厳しいかもしれませんが、稽古を積み重ねることで、忍耐も身につく上達し自信にも繋がります。色々な困難にも立ちむかえるようになります。



上條 寿樹
(上竹田)

剣道クラブ

続けています。本人いわく「俺は指導者向きではない」そうで「クラブに所属する子どもたちの成長のひとつに携われるだけでもありがたい。子どもたちに感謝だね」と言います。教えるというより感じてくれたら、伝えられたらと優しい瞳で語る林先生です。



還暦の仲間と共に

今月の声

『友綱会』発足

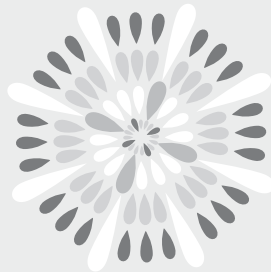
友綱会会長 平沢 典義 (中大池)

「友綱会」この名称は、山形小学校を昭和42年度に卒業したおりの記念文集より付けられました。卒業しても友達同士いつまでも友情という一本の綱で結ばれていてほしいという願いが込められています。

還暦祝の花火を打ち上げる話が出て、初回の役員会が開かれたのが、今年に入ってからでした。

もともと花火の打ち上げには反対する考えを持つていた私ですが、仲間の大半が「打ち上げよう」という意見の中で、反対する考えを出せずに、皆に引き込まれて行きました。

名簿作り、どれくらいの花火を上げるか、通知をどうするか、等々の作業を行なっていく中で、これまでの会議では、花火のみを目的に話し合われてきたのですが、大切なのは、ぼらばらになつてしまつている仲間との再会だ、ということに気付きました。これ以来私の考え方も変わり、花火



の元に皆が集まれば、意味のあることだと考えました。8月15日、還暦を祝う会を行ないました。これに先立ち、逝つてしまつた友のお墓参りをしました。「こんなに若かつたんだね」「つい最近じゃない」お墓の前で、それぞれの思い出話で懐かしみました。

祝いの会に集まつて来る仲間から「あの誰だっけ」「小学校の頃と変わらないうね」「えらく太つたね」等の声があちこちで聞かれました。私もひとりだけ分らない女性が出て、今でも思い出せなく悔しさが残っています。

小学校を共に過ごした日々は、一生のかけがいのない時であったことをつくづく感じさせられました。この還暦の花火の機会がなければ再会できなかったであろう友と、これからも長く付き合いたいものです。

今夜の花火を夜空の亡き12名の星と共に楽しもうではないか。



中学校資源物回収

9月10日(土)、鉢盛中学校の生徒とPTAによる資源物回収が行われ、家庭から出されたアルミ缶とビール瓶を回収しました。集められた資源物は役場東側駐車場で分別され引き取られました。天候にも恵まれ多くのアルミ缶が集まり、3台のパッカー車がフル稼働していました。

歴史を伝える紙芝居

9月10日(土)、ミラ・フード館にて山形村民話クラブ「灯」主催の『山形村の歴史を語り継ぐ公演会』が開催されました。その中で初お披露目となつた紙芝居「清水寺の観音様」は、40年以上続く活動の中で一度も製作されなかつた清水寺を舞台にしたお話で、構想段階から3年の歳月を経て今回の公開となりました。



他にも、言い伝えを題材にした「長見寺のお姫様」などの紙芝居も公演され、参加した人たちは楽しみながら歴史を学びました。



おめでた(子・親)

(敬称略)

- 岡上 八起・洋・小坂
- 竹野入 新・義克・亜沙美・上竹田
- 宮坂 翼・徹・下大池
- 上條 綾仁・勇哉・上竹田
- 増沢 彩夏・仲夫・上竹田
- 上條 重則・71歳・下竹田
- 上條 啓一・81歳・中大池
- 山中 秀人・84歳・下竹田
- 永井喜代一・99歳・上竹田

おこやみ

夏の勉強会

8月18日(木)から20日(土)までの3日間、今年も夏休み恒例の寺子屋山形がトレーニンングセンターにて行われました。参加した児童は、ボランティアの方たちからの支援を受け、真面目に自分の学習に取り組んでいました。「いつもと違



う場所での勉強は気分転換にもなる」との声も児童から聞くことができ、メリハリのある勉強会になりました。

児童の健康について

8月23日(火)、山形小学校にて関係者を交えた学校保健委員会が開催され、長野県看護協会から北原光子先生を招いて性教育についての講演会が行われました。性教育を生きるための健康教育とし、子どもが自分の人生をどう歩み、



そのために親がどのように見守っていけば良いのか、心身ともに健全に成長していくための学校・地域・家庭の連携の大切さを再確認しました。

地域のつながりを再確認

9月4日(日)、長野県中部を震源地とした大規模地震発生を想定した、地震総合防災訓練が朝9時のサイレンを合図に全村一斉に行われました。

今年も隣近所や連絡班単位での安否確認や声掛けなど連絡網の再確認に重点を置いた



訓練が行われ、集計作業の迅速化など一刻を争う場面での課題が見えた意義のある訓練となりました。

通学学舎

～4日間の共同生活～

夏休みの余韻が残る8月28日(日)～31日(水)、山形村公民館主催の通学学舎が14名の児童が参加して開催されました。

生活の拠点をトレセンに置いた活動は、子ども育成会によるチャレンジ広場への参加から始まり、朝食作り・クラフト体験・信大生による特別講座・夕食作りと盛りだくさん。

日常生活ではなかなか経験できない貴重な時間を過ごした児童たちは、最終日を迎える頃、ちょっぴり成長した姿を見せていました。



空手 にかけた青春

空手道に携わって

松商学園高校 3年 ^{あかり}北原 星さん (上竹田)



私が空手道を始めたのは6歳の時でした。右も左も分からなかった私に、先生は私ができるようになるまで丁寧な教えで下さいました。そのおかげもあって、小学3・4年生の時に全国大会へ出場し、4年生の時には初段を取ることができました。高校生になり、私は空手の名門校でもある松商学園に入學し、空手道部に入部しました。毎日の厳しい練習に耐えながらも、私は相手を尊重する気持ち、根気強さ、仲間の大切さ、感謝の気持ちなど、たくさんの事を学びました。空手道に出会えて本当に良かったです。これからもっとたくさんの人に空手を知ってもらいたいです。

私が空手道を始めたのは6歳の時でした。右も左も分からなかった私に、先生は私ができるようになるまで丁寧な教えで下さいました。そのおかげもあって、小学3・4年生の時に全国大会へ出場し、4年生の時には初段を取ることができました。高校生になり、私は空手の名門校でもある松商学園に入學し、空手道部に入部しました。毎日の厳しい練習に耐えながらも、私は相手を尊重する気持ち、根気強さ、仲間の大切さ、感謝の気持ちなど、たくさんの事を学びました。空手道に出会えて本当に良かったです。これからもっとたくさんの人に空手を知ってもらいたいです。

金 ^{さや}紗綾さん
下大池
(てんびん座)

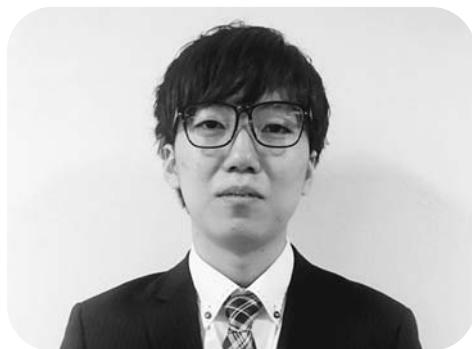
真道
(成人式にて)

堤 ^{ゆうき}祐貴さん
上大池
(おひつじ座)

真面目と言われます



のんびり屋です



成人式では、記念品を村長から緊張しつつ素敵な笑顔で受けとった紗綾さん。留学している韓国から帰国しての参加となりました。現在、鮮文大学語学院に通い語学を生かせる仕事に就けたらと勉強しています。留学してからどんどん韓国語を覚えることが楽しくなっていると言う紗綾さんは「将来、グローバルに活躍できる女性になりたい」と話してくれました。「日本を出てからもやっぱり帰りたいな」と山形村への愛も忘れてはいません。

今から8年前に卒業した小学校。6年生の時に児童会長を務めた祐貴さんは、成人式で「自覚を持って行動していきたい」と誓いの言葉を述べました。中学生の頃、スペシャルオリンピックスで障がいのある方たちと関わったことがきっかけで、将来は「二人ひとりに寄り添い、一緒に成長していきたい」と長野大学で勉強中です。今熱中している養護学校でのボランティアで、子どもたちからももらったミサンガが、祐貴さんの夢を後押ししてくれています。